

保育・教育専攻の学生を対象とした記憶画に関する実践研究 — 形状ストック指標の検討を通して —

高橋 文子

Practical Research on Drawing Memories for Students in Childcare and Education Major
- Through Examination of the Storage Shapes Level -

Fumiko Takahashi

要 旨

本学保育・教育専攻の1年生を対象に、基礎的な表現力を育成することを目的とした記憶画プログラム開発を行った。2016年秋学期の「こども美術」第10回目の授業で「記憶の旅」と題して実践した。本プログラムは、長期記憶、短期記憶、自伝的記憶によるアプローチから3つのワークで構成し、スケッチの認識・感受レベルを「形状ストック」という観点に着目して検討した。形状ストック指標を作成して、スケッチのレベルを数値化した。ワーク1の「記憶スケッチ」と「見て描くスケッチ」の対比は、一般的な形態を描くレベル3から特殊な形態を描くレベル5への移行であった。形態の微細な特徴の認識を促すと共に、グループ内の対話が活発化して新たな気付きを生み出す学び合いの場を確認した。ワーク2の短期記憶だけで描くクレヨン画は、モデルを参照しないため、のびのびとした表出を生み出し形状ストックレベルは4と5に集中した。ワーク3の幼い頃の強い記憶の断片を折本形式に描く活動は、懐かしさや多様な感情の伴う場の記憶を触発し、像に言葉を付加して共有が可能であった。感情を伴った深い形状ストック化が促進されたことを確認した。本稿は、これらの記憶画プログラムが、特殊な形態への認識を深め、深い感情の表出を生み出したことから、教育的に有効であることを実証した。

キーワード：記憶画、記憶スケッチ、形状ストック、自伝的記憶、形態の認識

1. 研究目的と問題の所在

筆者は近年、記憶してからモデルを見ないで描く「記憶スケッチ」を小学校で実践し、同じモデルを参照して描く「見て描くスケッチ」と対比することで、認識・感受レベルの向上とその可能性を明らかにした⁽¹⁾。本研究で扱う「形状ストック」とは、文字通り「形態の貯蔵」を意味し、「形を知っているという貯蔵庫であるとともに、そこから形態情報を取り出して活用する能力」を示すものである(成富 2015)⁽²⁾。

本研究は、本学保育・教育専攻の1年生を対象に、基礎的な表現力を育成することを目的とした記憶画プログラムの教育的有効性を、形状ストックの指標を作成して検討する。小学校のプログラムでは、ゴッホの美術作品等の短期記憶の描写のみを扱ったのに対して、本研究は長期記憶、自伝的記憶による記憶画を取り上げる。

本研究実践は、2016年秋学期の「こども美術」第10回目の授業で「記憶の旅」と題して行った。記憶して描く力は、構造や心象を総括した表現力の基底

である。形状ストックは、それらを自転車の乗り方を体が覚えているように身体性を伴って支えるため、本稿ではこの概念を重視する。学生の描く3種の記憶画の認識内容とその表出に着目して考察を進める。

ワーク1は、提示されたお題を自分の記憶や認識をたよりに描き、次に提示された画像を観察しながら描いた2枚のスケッチを対比する方法で行う。ネット上で楽しまれている記憶画力勝負という形で、遊びの1つとして取り入れられる手法である。

ワーク2は、具体的には絵本の1頁の特徴を話し合っ短期に記憶したものを、クレヨンで描く。これまで「記憶スケッチ」と「見て描くスケッチ」に関する小学4年生の調査で、ほぼ同様の優位性であったのに対して、4、5歳時対象の調査では、モデルを見せても注視することなく、自分のイメージで描く「記憶スケッチ」の高い優位性が見られた。そのため、学生へは「記憶スケッチ」は、4、5歳児の描画スタイルとして解説した。

ワーク3は、学生自身の幼い時の強い記憶を、折本形式のミニ絵本に色鉛筆で表すものである。個人の記憶を扱うことから、その主題と描かれた形状ストックとの関連に着目した。

形状ストック指標の観点から、本記憶画プログラムに関する問題の所在を以下に示す。

- ・作成した形状ストック指標から、記憶画を描く際のどのような認識、感受レベルを、確認できるか。
- ・保育・教育を専攻する大学生の、「記憶スケッチ」と「見て描くスケッチ」の対比を、形状ストック指標を用いて、数値で示すことは可能であるか。
- ・自伝的記憶画のテーマと構成する形状ストックの実態はどのようなものか。

2. 記憶画に関する基礎理解

記憶画の教育は、19世紀末に西洋で広く実践された。ボアボードランと藤五代策の言説からフランスと日本の史実を記す。先行研究として、B.ウイルソン、渡辺晃一と成富ミヨリの言説を取り上げる。

(1) 19世紀フランスでの記憶画教育

ボアボードランは、「絵画的記憶による教育」(初版1848年)を著し、1850年代にパリの「帝国素描学校」にて記憶によるドローイングを実践している⁽³⁾。その成果は、ルグロ、ロダンらの弟子たちが証明し、対象作品と見紛うばかりの精巧な描写例に驚かされる。形状ストックの観点では、これらの神業のような記憶を基にした絵画化から、見ることだけでその構造をつかみ取ってしまう人間の高度な記憶と超絶な技の可能性を、この時期のフランスの実践に見ることができる。

(2) 明治・大正時代の記憶画教育

明治37年文部省「普通教育ニ於ケル圖畫取調委員会報告書」では、小学校の図画工作科教授要目として「随意画、臨画、写生画、記憶画、考案画、手工」が示されている。尋常小学校第1学年より高等科(中学)第3学年に至るまで記憶画は課されており、重視されていたことがわかる(大坪、2014)⁽⁴⁾。

藤五代策は、東京女子高等師範学校附属小学校に勤務し「略画を主とせる記憶画新教授法」を大正2年に発刊している⁽⁵⁾。藤は、記憶画には極めて簡単なものと複雑なものがあることを踏まえた上で、簡単な略画的記憶画に教育的価値を見出している。それは速記的なスピード感のある略図表示が思想表現の伝達において有効であるという藤の強い思いと、「時としては臨畫寫生畫の階梯となり、考案畫の源泉ともなることあり」と記憶画が図画教育の基礎となる学びであると主張する。

前出書には藤のスケッチ帖から25の基本形に分類された略画例がそれぞれ40程掲載されており、これらは大正版形状ストックモデルといえる。この分類は、記憶画の教授事例の中にも生かされており、日常見慣れた類似のモチーフを取り上げている。例えば、尋常科第3学年の題目例として「団扇・ラケット・銀杏の葉・扇等の記憶画」を挙げ、「児童の常に目撃せる平面形中形相の相似たるものを描かしめて、思想発表の練習をなす」と目的を記載している。1つのモチーフの教授方法については、順に「整理」「空

書」「発表」「姿勢と執筆の注意」「批正」を繰り返す。「整理」は、形の特徴を話し合うことで、「空書」は、手を空中で動かして形を辿りながら、特徴を確認することである。当時は、鉛筆を逆さに持たせて行った。「発表」は、モチーフを隠して、児童が、思い思いに記憶画を勇んで描く表出を表している。教師は崩れがちな姿勢と執筆を注意し、早く描けたものは複数描かせ、全員書き終えたところで鉛筆を置かせる。そして「批正」という実物と比べて直させることを行った。これらは短期記憶による記憶画練習といえるもので、形状ストックのポイントとなる形態の特徴について、個人の観察に任せるのではなく、教師が主導し意見を吸い上げた後に、全体で共有している。以上、形態を覚えて描くということが教育課程で重視されていた明治・大正時代の記憶画授業の一端を明らかにした。大正時代は、一方で山本鼎らが「自由画教育運動」を展開する。昭和7年に定められた「新国定教科書」の教材の分類では、「記憶画」の表記は姿を消し、記憶を描く表現活動は「思想画」に吸収されるのである（大坪2014）。

(3) 先行研究

B.ウイルソンらは「美術からの描画指導－アメリカDBAEからの新しい指導法－」（1998）において、DBAE（Discipline-Based Art Education）と言われる学問分野に基づいた美術教育を推進した。1980年代に米国で生まれた美学・美術史・美術批評・美術制作の4領域からなる描画と鑑賞活動を通じて、学問や文化としての美術を子ども達に伝えていく方法である⁽⁶⁾。美術作品を資源として捉えており、文字通り「美術からの」新指導法においては、美術作品の「画像を借用すること」を造形刺激による連想・伝承と捉え、その後の再創造（recreation）を最も重視する。児童・生徒が、歴史的造形作品や日常生活の中の美的なものを「借用する」過程には、必然的に感受したことを記憶するプロセスが成立する。B.ウイルソンらは、「記憶をもとに『似せ絵』を描くように求めたら、彼らの描写には多くの奇異で不正確で同じような特徴が表示された。」と記憶画に関

する図式的傾向を客観視する⁽⁷⁾。本研究では、「奇異で不正確な」記憶画を、学生の貴重な認識の表象として捉え、それらが変化していくプロセスを特に重視していく。

渡辺晃一は「絵画の教科書」（2001）において記憶をたどって「千円札」や「モナ・リザ」を描くという実践の考察から、人はいかにもものを見ていないかを指摘する⁽⁸⁾。個性や個人の絵の能力には、生得的なものだけではなく注視する態度や手を動かす運動機能の熟練が必要であることを説く。これらの長期記憶スケッチの作例の情報はあまり正確に記憶されたものではなかったため、その後、模写や言葉によって内容を再確認して一週間後、改めて描いたときは、多くの学生がかなり正確にそれを描き出すことができた事例を示す。これらは、記憶が蓄えられ形状ストック化が推進された状態と言える。渡辺は「絵を描くためには、描く技術や方法を知ることだけでなく、常日頃から『見ること』に対して意識的・自覚的になるということが非常に重要である」と指摘する。形状ストック化を促進していく上で、この形態をどう見るかは重要なポイントである。

成富ミヨリは、「形状ストック」という概念を「絵はすぐに上手にならない デッサン・トレーニングの思考法」(2015)において示している。「形状ストック」は成富の造語であり、「多くの形を覚えている能力」「覚えている形状の量」という解説から成富は量的に捉えていることがわかる。絵における能力を8つに分解して、「形状ストック」の他に「アイディア」「オリジナリティ」「構図構成力」「形を取る力」「立体を把握する力」「テクニック」「完成させる力」を挙げている。アニメーション等の絵コンテを描く経験を基にした形を構造として捉える見方は説得力がある。

成富は、形状ストックの具体的な到達度のチェックとして以下の5項目を挙げている。「①見ないで描けるキャラクターが3つ以上ある②模写が好きだ③ものの構造や骨格を見るのが好きだ、または興味がある④小さい時からよく落書きをしていた⑤図鑑やカタログなどを見るのが好きだ」これらは、正に日

常の生活の中で、形状ストックを蓄えているかがわかる行動指標である。保育・教育専攻の学生にとって、これらの形状ストックのチェック項目の到達度は大きな幅があるに違いない。将来子どもの造形に関わることを想定している学生にとって、構造を捉えた形状ストックを備え、記憶画を描く表現力をもつことは、より現場に即した教師像といえる。

3. 授業構想

(1) 「子ども美術」授業内容の検討

「子ども美術」は、本学保育・教育専攻の1年生を対象に秋学期実施される。幼児の発達と表現活動の関係をふまえた材料や技法についての検討及び作品制作の実習を通して、学生自身が表現の楽しさや喜びを体験し、幼児の造形表現活動に適切な教材の選択や支援ができるようにすることをねらいとしている。2016年度までは2名の担当教員が、それぞれクラスをもち、独立して運営してきた。2017年度のクラス増に伴い、授業の運営の仕方を検討した。その結果、学生の造形体験の不足を最大限補うこと。「楽しかった」という主観的考察中心から客観的考察を踏まえた省察を重視する等の課題が出された。授業内容の質的向上をねらって、内容と計画の見直しを行った。(表1)もう一人の担当者である木内菜保子とオムニバス形式で15回の講義を分担した。体験重視と省察の定着のために、授業内は構造活動に専念し、授業後に省察内容をF6スケッチブックのリフレクションノートに作成することを課題とし、それを評価対象とした。

記憶に関するプログラムは、牛乳パックを用いた紙漉きやラミネーターを用いたコラージュと共に新規に加えたものの1つである。記憶に関わる造形活動は幅広くかつ奥深い。容易いことではない分、視覚化し共有できたときの達成感は大い。記憶というイメージを扱う体験は、教育に関わる学生に必要と判断した。授業計画第10回目に「イメージをもとにした造形活動③：記憶をめぐる」ことをテーマに立案した。

表1 「子ども美術」授業の内容と計画

(2016・秋学期)

<p>教育者として必要とされる色や形、素材に関する造形技術や知識を習得する。授業では様々な造形活動を体験し、それらの活動が子どもの成長と創造性の育成にどのように関わっているかについて具体的に考察する。そして、どのような題材や環境の設定をすればよいか、指導内容や指導方法について検討する。(授業の進度によっては順番や内容を一部変更する場合がある。)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 紙から広がる行為と造形①：自分を自由に表現する 2. 紙から広がる行為と造形②：紙と対話する 3. 粘土から広がる行為と造形①：身体で考える 4. 粘土から広がる行為と造形②：粘土の特性 5. 描画材から広がる行為と造形：パス・絵の具の魅力 6. 技法から広がる行為と造形：モダンテクニックなどから 7. かかわりを生み出す：共同制作 8. イメージをもとにした造形活動①：版画の魅力 9. イメージをもとにした造形活動②：色彩の世界 10. イメージをもとにした造形活動③：記憶をめぐる 11. 技法の活用①：生活空間を彩る 12. 技法の活用②：遊びをつくる・動きのある造形 13. 素材を生かす：牛乳パックから 14. ラミネーターの活用：コラージュ 15. 総括：子どもの美術とは <p>木内担当 (1、2、8、12、13、15) 高橋担当 (1、3、4、5、6、7、9、10、11、14、15)</p>

(2) 記憶を描くプログラム

第10回目の記憶を描くプログラムについては表2のように進めた。これまで行った実践は、児童を対象とした美術作品の記憶画の実践である。情報量の多い画面を記憶することから、抵抗のある児童が若干見られた。より楽しみながら形態の細部を認識できるプロセスを作るために、日常生活の中で散見できる「記憶画対決」の手法をプログラムに入れることを検討した⁽⁹⁾。また、保育園児4・5歳児に実施した絵本の記憶画は、美術作品の記憶画に比べクレヨンを使用して動的であり、時間的にも負担が少ない。幼児の描画体験としても学生の学びに有効であろうと同様に検討した。また、新見睦の「描き残したい昭和」の2歳半の一番古い記憶画にヒントを得て、「幼き日の記憶の断片」をテーマにした記憶画を構想し、表2のように配列した⁽¹⁰⁾。90分間に3つのワークというタイトなプログラムであり、「鉛筆→クレヨン→色鉛筆・色コンテ」と描画材を適したものに変え、長期記憶、短期記憶、自伝的記憶という異

なる記憶の表出という刺激的な内容となった。

表2 「記憶の旅」プログラムの内容と時間配分

分	活動内容
5	【導入】 ・本時は、「記憶の旅」と題して、様々な記憶をスケッチすることを伝える。 ・美術的な造形活動への切り替えを図る目的で3分スケッチをする。本時の記憶画の伏線として新見陸さんの「私の記憶画」画集から2歳半の記憶画を取り上げ、部分を描く。
35	【ワーク1：〇〇の記憶をたどって】 ・B4サイズの用紙を折って2×4マスに8分割しておく。描くことに慣れることをねらって、上段に記憶スケッチ、下段に見て描くスケッチをする。2つのスケッチを対比してみる。 お題 1.かえる(イラスト風可) 2.ぺこちゃん 3.ウルトラマン 4.グループで決める
20	【ワーク2：らっこちゃん】 ・絵本「らっこちゃん」 ⁴⁾ 画像を投影し、読み聞かせをする。 ・「貝を割るページ」で見つけた形を話し合い、形を確認する。 ・その後らっこちゃんの記憶スケッチを、クレヨンで描く。 ・「らっこちゃん かつかつ」の言葉も書き込む。 ・幼児は記憶スケッチスタイルであることを補足、解説する。
25	【ワーク3：記憶の断片】 ・幼い時の強い記憶の断片を、色鉛筆や色コンテで描き、折り本形式で文を添えて絵本にする。 <input type="checkbox"/> 思い出せる一番小さかった時の記憶 <input type="checkbox"/> 子どもの頃、一番うれしかった出来事 <input type="checkbox"/> 子どもの頃の強い記憶になっている風景や光景など
5	【まとめ・省察】 ・つくった記憶絵本を見せ合い、共有し、短い省察を記す。

4. 記憶を描くプログラムの実際

「記憶の旅」の授業は、2016年12月5日に4クラス、8日に2クラス行い、計193名の学生が図工室にて受講した。「記憶の旅」プログラムのねらいは、「長期記憶、短期記憶、自伝的記憶それぞれの記憶スケッチを描くことで、自身の形状ストックを増やし、形態の認識を深め、イメージを表す基礎技能を習得す

る」である。1番目のクラスで、折本絵本の説明が不十分で、異なるテーマで取り組む学生が若干見られた以外は、3つのワークはスムーズに進行した。

板書には、本時の流れと共に、本時のポイントとして「記憶をたどって様々な形を描いてみよう。そして記憶と関連して引き出される感覚や感情を思い返してみよう。さらに、19世紀のフランスのスコッチを目指して自分の記憶の形状ストックを鍛えよう。」と補足した。詳細を以下に記す。

(1) ワーク1：〈〇〇の記憶をたどって〉

「記憶スケッチ」と「見て描くスケッチ」を交互に1課題約8分、計35分程取り組んだ。B4サイズの藁半紙を準備し、じゃばら折り後、上下を合わせて8区分をつくらせた。上段は記憶によるスケッチを描き、下段には教員が黒板に大きく描いたり、プロジェクターで示したりしたモデルを見ながら見て描くスケッチに集中して取り組んだ。

準備した3課題(①カエル②ぺこちゃん③ウルトラマン)を1つずつ示す度に、学生は当惑の声を上げたが、刺激を楽しんでいる様子で描き進めていた。カエルについてはイラスト風に描く学生が多かったが、多様な表現を期待してモデルは具象的表現の図を提示した。特に「見て描くスケッチ」の際は、静淑な中で学生が感覚を研ぎ澄ましてスケッチに向かう姿を確認した。曖昧な自分の捉えが描きながら次第に晴れていくようで、小気味よくプログラムは進み、4番目のグループ選択課題は多様なものとなった。「おでんくん、しまじろう、ミッフィー、おじゃるまる、子鬼トリオ、しんちゃん、アンパンマン、トトロ、ハム太郎、マイメロちゃん、チーバ君」等、学生にとって身近な親しみのあるキャラクターが挙げられていた。

次に学生のリフレクションノートのワーク1についての記述内容を分析する。第1に「絵を描くのが、答えと全然違っておもしろかった」「記憶スケッチはなかなか思い出せず、苦戦をしたが、とても面白かったので自分が教育者になった時にやらせてみたい」という「記憶スケッチ」と「見て描くスケッチ」の

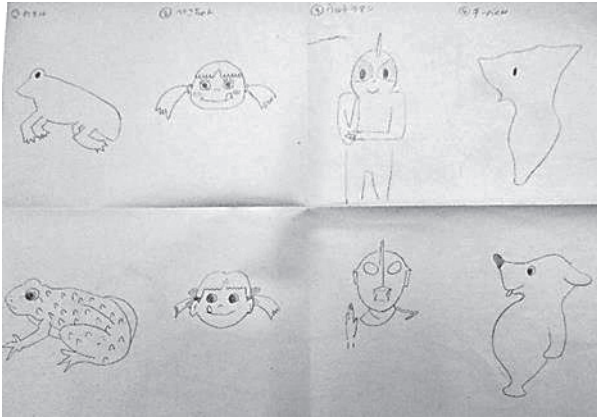


図1 記憶スケッチ（上段）と見て描くスケッチ（下段）の対比

強烈な対比の面白さが挙げられた。第2に「案外描けない方が多いが、見て描くスケッチだと情報量が増えたことでスラスラ描けた」「答え合わせの時、今まで以上によく見る」という単独ではなく、比べるからこそ強く認識している姿を確認した。第3に「まわりの人と話し、コミュニケーションになった」「隣の子も描けないので安心した」という個人の活動ながらチームで見合い、共感しやすい場の効果を確認した。

(3) 形状ストックの数値化の試み

図1の対比を詳細に見ると、上段の記憶スケッチのカエルは一筆書きのように輪郭を追って描かれている。ジャンプができそうもない平坦な足の描写であるが、飛び出した目の部分など、日頃からかなりの観察力の持ち主であることが推測できる。他のウルトラマンやチャーバくんについてもかなりの特徴を捉えており日頃からスケッチを描き慣れていることがわかる。

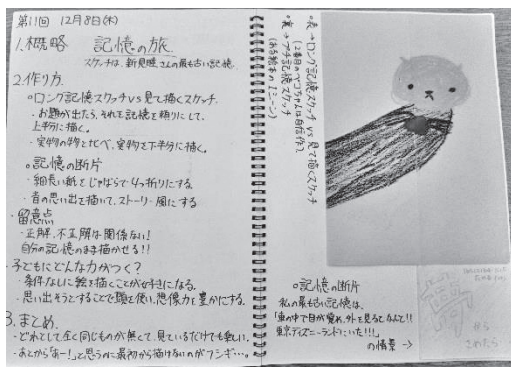


図2 リフレクションノート例

同様にワーク1の記憶スケッチを撮影した資料画像129枚を概観すると、上段の記憶スケッチは、おぼろげな記憶がそのまま自信のない弱い線で描かれおり、下段の見て描くスケッチは、徐々にイメージとぴったりと合う線をつかんで描かれている。この微妙なバランスの獲得は表現力を支えるものである。

しかし、これらの「記憶スケッチ」と「見て描くスケッチ」をさらに自分達のものにしていくために、似ているか否かという感覚的な個々の捉えの判断に止まらない、記憶スケッチの状況を示すレベル指標を定める必要性が出てきた。

本研究で重視している形状ストックの数値化を試みた。例えば、課題2の「ぺこちゃん」図で形状ストック要素を想定してみよう。どの形状の要素をクリアできるとよいのだろうか。

最も特徴的な要素は、ほほのふくらみであり、現実にはありえないほほの脇に耳が位置していることである。さらに、蒲鉾型の黒目の大きな瞳、ぺろりと出した舌、2つに結わえた髪、そして、リボンがぺこちゃん像に不可欠の要素である。

表3 形状ストックの具体的要素例

要素	形状ストックの要素：ぺこちゃんの顔	
a	特徴的なほほのふくらみ	
b	ほほの脇に位置する耳	
c	蒲鉾型の瞳	
d	ぺろりと出している舌	
e	前髪と二つに結んだ髪	
f	リボン	

眉がないことも特徴であるが、ぺこちゃんの形状ストック要素は表3に示すaからfの6つであると確認した。

さらに、全体を視野に入れた「形状ストック指標」を考案し、設定することで、学生のスケッチレベルを捉えることを試みた。レベル1は、何も描けない表象として視覚化できないことを示している。レベル2は、要素が不十分な描写、レベル3は、要素を満たした描写、レベル4は要素数を満たし、特徴を

やや捉えた描写、レベル5は要素数を満たし、特徴を捉えた描写であり、質的な高まりを期待している。

表4 形状ストック指標 レベル1～5

形状ストック指標	
1	表象として視覚化できない。
2	要素が不十分な描写
3	要素を満たした描写
4	要素数を満たし特徴をやや捉えた描写
5	要素数を満たし特徴を捉えた描写

図1 作品例は、記憶スケッチがレベル4、下段の見て描くスケッチがレベル5であると判断した。無作為抽出した74作例の形状ストック指標レベルの集計は、「記憶スケッチ」レベル2が18%(13)、レベル3が41%(30)、レベル4が42%(31)で、レベル3とレベル4に二分された。平均は3.21であった。

「見て描くスケッチレベル」はレベル3が1%(1)、レベル4が25%(25)、レベル5が65%(48)であり、レベル3と4からレベル4と5に移行したことがわかる。平均は4.6であった。レベル3から5に移行した学生は、19%(14)おり、見て描くスケッチ優位の学生と判断できる。これらの学生の記憶スケッチレベルを4に引き上げることが課題であろう。

2つのスケッチを対比させたことで、より深く見ることが可能であった。この単一の模写だけでは難しい気づきを、この対比はより鮮やかに強調する。学生達はもどかしさの後に、描けた達成感を得られたことを確認した。それらを暫定的ではあるが、形状ストックレベル3.2から4.6への上昇と数値化できた意義は大きい。また自分の描けなさに向き合い、モデルと対比することで細部の認識の感受を得て、形状ストックかが促進されたといえる。

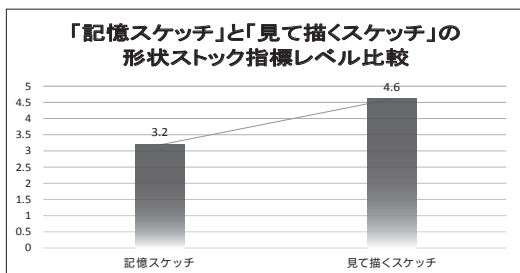


図3 形状ストック指標レベル比較

(2) ワーク2：〈らっこちゃん〉

短期記憶によるスケッチには約20分間取り組んだ。教員の読むMAYA MAXX筆の絵本『らっこちゃん』から、ラッコが貝を割る場面を記憶して、ワーク1の用紙の裏面にクレヨンで描いた。

描写はクレヨンのラインの太さ、発色のよい筆致に助けられ、スムーズに進んだ。記憶のみで描くため、モデルと比較する視点の移動がない。記憶画本来のモデルに捕われない自由度の高い表象を学生は味わうことになった。最後に「らっこちゃん かつ かつ」絵本の言葉を加筆して、1ページを描き上げたことに満足げであった。らっこの形態は単純なものだったためか、形状ストックレベルは、4と5に集中した。

(3) ワーク3：〈記憶の断片〉

授業の始めに3分スケッチとして描いた新見睦の2歳半の記憶画を紹介して導入とした。新見の記憶画は、「場面」を描くが、本時に作成する記憶絵本は個物の描写でよいこと、言葉を付加してもよいことを伝えた。八切画用紙を横に三等分したものをじゃばら折にして掌大の表裏4頁ずつ使える用紙を準備した。

描かれたテーマは、心象的な出来事や遊び道具、買ってもらった物、失敗の記憶など多岐に渡った。

リフレクションノートに添付されていた記憶絵本を撮影した144枚の画像資料等から、2クラスを抽出した64例の作品のテーマ、形状ストック、掲載文等を類型したものを表5に示す。64例中、17作品が「愛着」をテーマにしており、それらは、「ぬいぐるみ、好きな食べ物、ガラス玉、訪れた土地、親しんだ自然、家族同様の動物、生まれ育った家や故郷」など、それぞれ象徴的に描かれていた。

2番目に多く挙げられていたのは、「うれしい」心情の12例(16%)であり、「兄弟の誕生、花の蜜を吸った出来事、小学校の時に育てた野菜で一番おいしかった枝豆、おままごとのごはん、長縄跳び記録の達成感、お母さんに内緒で買ってもらった特別な焼き鳥」など、それぞれの場面での喜びが表現されていた。熱的な愛好家は「ファン」と分類し、仮面ラ

表5 記憶絵本のテーマ類型・形状ストック・添付文

テーマ	形状ストック	掲載文 ※印は絵のみ
1 愛着	右手を上げている	ラスカルずーと一緒にいた ラスカルのぬいぐるみ
2 愛着	トマト くま いくら	私の好きだったもの トマト くまさん いくら
3 愛着	ガラス玉 クマ	自分で作ったガラス玉 ハートをいれてあげたクマのぬいぐるみ 北海道で食べたあふれるくらいはいくら丼 赤ちゃんのときにもらったプーさんの毛布
4 愛着	白鳥足こぎボート 川 星空 山のものの実なる木2	思い出 みんなで公園のボートに乗った 友達といった吉野川 家からみた星 家の前になって山モモ
5 愛着	レンゲ畑と私 布団に寝る私	レンゲ畑にいる私 帰る 寝る へんじがない どうやら眠っているようだ
6 愛着	黒アゲハ蝶 水とトマト	小さいころ 夜に黒アゲハをおっかけたよ プールでミニトマトをおっかけたよ
7 愛着	菜の花畑 焼き芋 プリキュア2	わたしの思い出 菜の花畑 おばあちゃんと買いに行ったやきいも 大好きなプリキュア
8 愛着	タオル うさぎ くま	お気に入りのくまのタオル お気に入りのうさぎのぬいぐるみ お気に入りのくまのぬいぐるみ
9 愛着	道を走る車 子犬 寝そべっている犬	新しい家族を探しに家族4人で出かけ 4件ペットショップをまわってやっと出会えた かわいい弟くん いつもネテルぐうたらくん 速くへ行ってしまっても ずっと側にいる 大好きな大好きな アレックスくん 大切な家族 アレックス 大好きな弟くん
10 愛着	犬を連れて女の子 犬と向き合う女の子 ねこと制服を着た女の子	ある所に○○ちゃんとかわいい女の子がいました。女の子と○○ちゃんは仲よしでしたねこちゃんとも仲よしでした最近画面の向こうで出会えませんか
11 愛着	スケート靴 バレーボール サッカーボール バットとボール	フギアスケート バレーボール サッカーボール 野球
12 愛着	ドイツニーランド キャンプ場	色々な場所 よく行った夢の国 海と交互に行った那須
13 愛着	船と人と紙テープ 鳥と船	ひっこしのはなし 紙テープでつなぐ船と鳥 船に乗ってひっこし 船でゆらゆら
14 愛着	子ども 部屋 廊下 部屋	私は19年前にこの家に生まれた 部屋① 廊下 部屋②
15 愛着	鳥	あいさつすればあいさつしてくれたよくわかんない鳥
16 愛着	制服 バスケットボール 5組	知らない友だち 新しい学校 新しい先生 戻りたい気持ちでいっぱい 大きな友だち 大きな先生 大きな学校・・・一生の友だちもできた青春の1ページ 今夢を叶えるために がんばっています
17 愛着	海 山 川 空	海があった 山があった 川があった 空があった そして
18 うれしい	赤ちゃん和我	よろびく〜 長男で〜す
19 うれしい	鍵盤和我	※
20 うれしい	黄緑の彩色の上に小花	小学生の時、みんなで花の蜜をすった。赤いピンクたぐさんの色おいしい! 甘い!
21 うれしい	ひよこ こたつ	幼なじみからの贈り物 ひよこのぬいぐるみ 恥ずかしさのあまりこたつに隠れた とってもうれしかった贈りもの
22 うれしい	ミニトマト 枝豆 きゅうり	6ねんかんてたぐさんのやさいをつくった。1ばんおいしかったの えだまめ
23 うれしい	砂場 子ども3 笑顔	ごはん食べたよ ともだちとおまごをしてあそびました みんなでお料理をしてごはんをたべました
24 うれしい	さつまいも イルカ	おいもほり おおあらいすいぞくかん
25 うれしい	ツリ 煙突とサンタクロース チーズフォンデュ 雪だるま	クリスマス※
26 うれしい	長縄を跳ぶ子ども達 黒板	長縄630回 卒業おめでとう
27 うれしい	焼き鳥屋と父子	父との買い物帰り「お母さんにないしょだぞ」と言ってやきとりを買ってくれる
28 うれしい	衣装を着ている私	みづばちマーヤ役をやった時やたら小さい衣装
29 うれしい	おゆうぎ会の衣装を着た私と友達4人	※
30 ファン	仮面ライダー ウルトラマン	仮面ライダー空我 ウルトラマンティガ
31 ファン	ウルトラマンに抱かれている私	ワタシノアタマハ ウルトラマン イッパイデシタ
32 ファン	赤い背番号15のユニフォーム	耐雪梅花堂 広島東洋カープ 黒田博樹
33 ファン	野球の背番号1のユニフォーム	大きな失敗をした分 大きな成功を成し遂げる 高校球児
34 不思議	尽誠 上宮 MPB	※
35 不思議	トイレ 寝ている自分	気づいたら・・・ねぼけてトイレで寝ていたよ
36 不思議	大きな金魚 小さな金魚2	ある夏の日 金魚を2匹もらいました 2匹の金魚を大きい金魚が1匹入る水そうの中へうつしました 次の日、水そうの中には大きい金魚が1匹だけいました
37 不思議	黒雲和我	ゆめ 3さいごろのこわいゆめ 目はきいろでおきなくもがはなしかけてきたゆめのなかでフランスパンをたべたら おかあさんのうでだった
38 不思議	袋に包まれた女の子	ある日の昼下がり「宅急便でーす」○○のおうちに荷物が届きます はいはいちょっと待ってね 出てきたおばあちゃんは特別な宅急便を受け取ります ビニール袋の中には? 「○○だよ」
39 友情	ブランコ	初恋の子と両思いになり、ブランコのうしろですききいていわれた
40 友情	ゆず トマト	奇跡的な出会い 私の人生でかわったとくべつな人たち 何度も何度もすくわれた Friend 私の人生で最も大切
41 友情	校庭 3年生の私 影	ちいちゃんのかげおくれ」を読んでクラスのみんなと校庭でかけを逃して遊んだよ
42 友情	幼なじみたち	りゅうくん かずくん わたし
43 怖い	犬	おばあちゃんが大好きでおばあちゃんの足をなめまくる怖いヨークシャーテリアのロン
44 怖い	観覧車	と泣く私初めての観覧車 怖くて泣いた
45 怖い	はさみ	私の生きた道 はさみが目に入った いたい いたい 先端こわい
46 怖い	鬼のお面2	ばんちゃんの家にかざってあった鬼の顔 こわい
47 困惑	りんごあめ わたあめ 私	わたあめとりんごあめ、どっちか1つだけ➡りんごあめ おいしかった
48 困惑	教室の机と黒板	あんなに大きく感じた 小学校の教室
49 困惑	バイナッフル	バイナッフルを食べ過ぎて苦手になった。1日申おならなかった
50 困惑	お風呂と女の子 おしりにはっぱがはさまっていて笑われた図	あはは
51 切なさ	夜空の月 ベンチに座る男女	電話での名言 明日の月はキレイでしょう というのはね あなたを殺しに行きますって意味なんだよ 会える距離なら電話なんていらぬのにね
52 切なさ	赤と青のランドセル 通学帽子 桜の木	ドキドキ ワクワクよりも不安の大きかった入学式・・・。6年間育った学校や先生、友だちとバイバイ・・・。
53 切なさ	4本の樹木 卒業式の立看板	季節をまたぐごとに 別れがある 卒業式
54 悲しい	海と私 波 ホテルで泣く私	3才のとき初めて海に行きました。ちょうど台風が直撃しました。どんどん海は荒れていきます。海に入らず、大泣きました
55 悲しい	舞台 手を挙げて旗を降る私 辛そうな私 泣く私	2さいのサンリオ 旗を降ってキャラクターを応援するイベント 旗を降るのをやめると上にいるかいじゅうに食べられちゃう(設定) 腕が痛くて手をおろしてしまう 怖くて泣き出す
56 悲しい	赤いランドセル つぶった瞳 瞳にうつるもの シンデレラ城	ランドセルの中に麦茶をこぼした1年の春
57 驚き	お姉さんと私 腕時計と機械	まぶしいなあ ここはどこだろう・・・? シンデレラ城だ!
58 驚き	海 船 魚 お刺身	ステージからお姉さんがおりてくる 腕につける機械で助けてくれた
59 努力	一輪車	初めて船に乗った 父とつりをした 初めてつった魚 自分でつった魚を家で食べた
60 努力	一輪車 フラフープ 上り棒	毎日練習した一輪車
61 美しい	海と夕日	※
62 美しい	自転車に乗っている私➡おでこをすりむいている私	生まれて初めて「言葉にならない」というほどの夕日を見た
63 痛み	自転車に乗っている私➡おでこをすりむいている私	※ (表紙 自転車の良い思い出)
64 欲望	ランドセルを背負う男の子と実のなっている棚	あの豆っばいのをとりたい いちばんでっかいのがほしい



図3 記憶絵本作例No.45

「りんごあめとわたあめどっちか1つ」



図4 記憶絵本作例No.4

「みんなで公園のボートにのった 他」

イダーやウルトラマン、プロ野球チームなど5例（8%）が熱く語られていた。次に「不思議」「友情」「怖い」「困惑」等、微細な心情をテーマにした作品が続き、非常に個性的であった。さらに「切なさ」「悲しい」「驚き」「努力」「美しい」「痛み」「欲望」と続いた。同傾向の「愛着」「うれしい」「ファン」をまとめると32例となり、50%を占めた。

また、1つの頁に描かれている形状ストックの要素数比較では、1つずつの要素数が圧倒的に多く、検討作品数（抽出2クラス65冊）のうち全体の35%（23冊）を占めた。2つは22%（14冊）、3つは29%（19冊）であった。4つ以上は14%（10冊）であり、船と群衆と紙テープというような3つ以上の要素をもつと、より場面の様子が伝えられていた。特に何も思い出せないと悩んでいた学生は、昔のケガの記憶を描いた。痛みの記憶は強いものであることを確認した。

学生のリフレクションシートからは「記憶を思い返すことで、その時に感じたことや感覚も思い出されました。」「記憶の断片で自分の一番古い断片をたどり、絵本にしてとても懐かしい気持ちになった。」とワーク1、2にはなかった感想が挙げられた。自伝的記憶の表象には、それに伴う感覚・感情面が強く示され、それらのテーマの中では、「愛着」を示す割合が最も高かった。

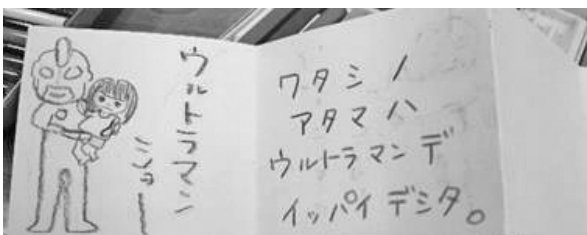


図5 記憶絵本作例No.29

以上、ワーク1～3の記憶の表象プログラムにおいて、形状ストック指標を定め、暫定的ではあるが、形状ストックレベルを数値化することは、可能であることを明らかにした。

6. 結論

記憶を描く活動を検討し、問題の所在に対する以下の結論を得た。

形状ストックは、それぞれの像のもつ形態の特徴の要素の複合体であることを確認した。形状ストック指標を5段階で定めたところ、記憶スケッチの実態は、要素を満たしたレベル3であった。特徴をさらに感受、表現することで記憶スケッチレベルを高める方向性を確認した。

長期記憶による「記憶スケッチ」と「見て描くスケッチ」の対比は、具体的には、3.2から4.6の上昇を確認し、一般的な形態を描くレベル3から特殊な形態を描くレベル5の獲得プロセスであった。対比により微細な特徴が浮かび上がり、それらを感受することで、学生の形状ストック化が促進された。また、「記憶」で遊ぶことがこんなにも楽しいとは思わなかったといった感想が聞かれ、グループ内の対話が活発化した。

自伝的記憶スケッチである記憶絵本作りは、1つの切り口から様々な思い出が想起された。幼い記憶の断片を描く活動は、深い場の記憶や懐かしさを触発し、言葉を付加して共有が可能であった。特に「愛着」「うれしい」等のテーマ例が50%を占め、感情を伴った深い形状ストック化が促進されたことを確認した。

3つのワークによる記憶スケッチプログラムは、特殊な形態への認識を深め、教育的に有効であることを実証した。

謝辞

「子ども美術」の共同担当者である東京未来大学木内菜保子氏には、授業内容について単著で本論文を執筆することをご許可いただいたことに感謝申し上げます。

註

- (1) 高橋文子「美術作品を記憶して描くことの教育的効果－児童の形状ストックという観点から－」『美術教育学』第37号, 2017, pp.313-326
- (2) 成富ミヨリ『絵はすぐに上手にならない デッサン・トレーニングの思考法』彩溪社, 2015
- (3) 安藤智子「プロフェッサー アルフォンス・ルグロ」『清泉女子大学人文科学研究紀要』第34号, 2013, pp.237-257
- (4) 大坪圭輔『美術教育資料研究』株式会社武蔵野美術

大学出版局, 2014

- (5) 藤五代策『略画を主とせる記憶画新教授法』目黒書店, 1913, 藤は記憶を「外界の事物を視覚・聴覚・筋覚等の働きによって脳底に印象した觀念を, 比較的違わずにその儘再び心の中に現したる作用」と述べ, 把握作用, 復元作用, そして第三次の再認作用(明確に場所と時限とを憶い出すこと)が大切であると示している。
- (6) B.ウイルソン, A.ハーウィッツ, M.ウイルソン『美術からの描画指導－アメリカDBAEからの新しい指導法－』日本文教出版, 1998
- (7) 同 p.19
- (8) 渡辺晃一『絵画の教科書』日本文教出版, 2001, コラム3 記憶画, pp.134-135
- (9) ナンシー関『ナンシー関の記憶スケッチアカデミー』角川書店, 2003
- (10) 新見睦『私の記憶画 描き残したい昭和 第一集 戦中戦後のこども』工房にじのかけはし, 2014, p.4
- (11) MAYAMAX「らっこちゃん」福音館書店, 2013

(たかはし ふみこ) 東京未来大学